

案件化調査

ベトナム国 浄化槽維持・管理技術の導入による生活排水処理水準の向上に向けた案件化調査

企業・サイト概要

- 提案企業：株式会社環境分析研究所、株式会社昭和衛生センター、本多設備工業株式会社（共同企業体）
- 提案企業所在地：福島県福島市、同南相馬市、同塙町
- サイト・C/P機関：フイエン省/Vietnam Natural Resources and Environment Corporation (VINANREN)



浄化槽の設置工事

ベトナム国の開発課題

- 急速な経済成長と都市化に伴って水質汚濁が深刻化
- 生活排水については日本発の処理方式「浄化槽」が導入されているが、維持・管理技術不足、運用の仕組み未整備のため本格普及・定着には至っていない
- 従来型の処理方式（セプティックタンク）も不適切な維持・管理のため環境に悪影響を及ぼしている

中小企業の技術・製品

- 浄化槽の設計・施工、維持・管理、水質検査を専門とする企業3社の連合
- 浄化槽の維持・管理等の技術移転により、ベトナムにおける浄化槽の本格普及・定着を支援
- 導入コスト及びランニングコストの低減によって浄化槽の「現地化」を図る

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 普及・実証事業：①浄化槽の試験設置と適切な維持・管理による水質改善効果の実証（浄化槽の試験設置・運用、維持・管理人材の育成、地域住民に対する教育・啓発活動等）、②地方政府等に対する普及活動、③ビジネスモデルの検討

日本の中小企業のビジネス展開

- VINANRENと共同で浄化槽の設計・施工から維持・管理、水質検査に至る総合的な浄化槽運営サービス事業をベトナムで展開
- 現地調達、現地製造の活用によって浄化槽製造、施工、維持・管理の低価格化を図る
- 普及・実証事業を通じてVINANREN・天然資源環境省との関係を強化、各地方政府に対するコンサルティングを提供